

平成30年度第3回及び令和元年度第1回青少年問題協議会専門部会 報告書

活動テーマ「子どもたちが直面しているSNSの現状について」

(平成30年11月15日会議にて決定)

平成30年度第3回専門部会

日時 平成31年1月11日(金) 午前10時から11時40分まで
場所 田無庁舎 2階202会議室

令和元年度第1回専門部会

日時 令和元年5月17日(金) 午前10時から11時40分まで
場所 田無庁舎 3階庁議室

【議題】活動の具体的な取組について

1 今後の活動とテーマの取組期間

- ・西東京市の取組を学んで協議会の中で認識を統一したあと、子どもの生活の中でSNSがどういう現状であるかということを知る。そのうえで質問項目をしっかりと検討し、固めてから、具体的なヒアリング先についてはまた協議をする。
- ・テーマに沿った活動の最終目標としては、市のSNSへの取組を知ることに加えて、現状で発生している問題を指摘し、それに対して必要な取組の提言までをひとつとして考える。
- ・今期(第9期)は市の取組と具体的な問題事例を聞いて学ぶこととする。それを次期(第10期)に引き継いでヒアリングの内容等を検討し、実施できる状況にしていく。
- ・テーマに沿った活動の最終的な報告書のまとめは第10期に行なう。今期(第9期)はこれまでの活動内容をまとめた中間報告書を作成する。

〔主な意見〕

- ・中高生のヒアリングを主体的にやって、現場に行って子どもたちの実質的な声を聞いてみたい。
- ・ただ漠然と質問するのではなくて、目的をはっきりさせてからヒアリングをしたほうがいい。
- ・すぐに子どもの中に入ってヒアリングをするには、私たちの中で知識が不足しすぎている。一度きっちりと学んだほうがいいと思う。
- ・まず教育委員会・学校の取組や事業者の出前講座の内容を知った上でヒアリングをする方が効果的かと思う。
- ・調査の入口として、まずは教育委員会や学校の取組を伺って問題点などを聞いたほうが話の内容が入りやすいのではないかと。
- ・まずはじっくりと問題点を探りあてていって、まとめは先送りにしてもいい。
- ・今任期の終了までにやれることをやって次期に引き継ぎたい。

2 今期の取組

- ・教育委員会に西東京市のSNSを含む情報教育の取組の現状を聞く
- ・子ども家庭支援センターの職員から、実際にSNSに関わった事例を聞く

〔主な意見〕

- ・西東京市の現状の取組と、どんな働きかけが行われているのかというところを知って、来期つなげたい。
- ・教育委員会の方針を聞くというのは、今期中に取り組みそうな気がする。
- ・教育委員会の取組を、なぜそれが必要だと思うのかというレベルから聞いてみたい。
- ・小学校と中学校での取組のそれぞれの目的と、どういう子ども像を育てていきたいかというところをまずみんなで聞いておくと、情報教育の目的が分かると思う。
- ・SNSの問題は本当に間口が広い。西東京市で実際にどういうことが起きているのかを学ばなければいけない。
- ・問題点を抽出しないと第1歩が進まない。それをどこにヒアリングするかということをもとめて、あとは順番にやれば良いと思う。
- ・子ども家庭支援センターにたくさんの問題事例があがってきていて本当に問題として抽出できるのだとすれば、その話を聞くのが一番だと思う。

3 今期の取組での質問項目

(1) 教育委員会

- ・情報教育に関する教育委員会の方針
- ・ネット教育がなぜ必要なのか
- ・教育委員会や学校の取組
- ・セーフティ教室について
 - なぜ必要なのか・何を教えたいのか・小、中学校でやっているそれぞれの目的・
 - どういう企画でやっているのか
- ・SNSにはどういう利点があるのか、
- ・SNS どのようなトラブルがあるのか
- ・どういう子ども像を育てていきたいか
- ・SNSを含めた情報教育の効果は
- ・学校では手に負えない部分、家庭や地域が担うべき部分はどこか
- ・家庭に望むことは何か
- ・スマホ購入時にフィルタリングをつけるような注意を促すような取組を、販売事業者に向けて行っているか

(2) 子ども家庭支援センター（相談員）

- ・SNSやスマホについて、保護者から生活の中での心配点等の相談があればその内容
- ・SNS・スマホを介して実際にどのような事例が発生しているか。具体的な事例の内容
- ・地域や家庭ができることは何か